

第73回運輸政策セミナー オンライン開催のご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび運輸総合研究所におきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「運輸政策セミナー」をオンラインにて開催することとなりました。

つきましては、ご関心をお持ちの皆様におかれましては、ご参加を賜りますようご案内申し上げます。また、ご関心をお持ちの方々に広くご周知頂ければ幸いです。

ご参加に当たりましては、大変恐縮ですが、申込み専用 URL からお申込み頂きますようお願い申し上げます。

敬具

記

○第73回運輸政策セミナー（会場およびオンライン配信）

日 時：2021年6月30日（水）15:00～17:30

会 場：ベルサール御成門タワー

テ ー マ：鉄道事業におけるカーボンニュートラル（脱炭素社会）に向けた取組み

1. 基調講演

テーマ「カーボンニュートラルを巡る動向～気候変動リスクとサステナビリティ経営～」

講 師： 吉高 まり 三菱UFJリサーチアンドコンサルティング企画管理部門副部長/
プリンシパル・サステナビリティ・ストラテジスト

2. 講演

テーマ① JR東日本グループ「ゼロカーボンチャレンジ2050」の取組み

講 師： 笠井 浩司 東日本旅客鉄道株式会社 経営企画部次長

テーマ② 阪急阪神ホールディングスグループにおけるサステナビリティ推進の取組

講 師： 相良有希子 阪急阪神ホールディングス株式会社 サステナビリティ推進部課長

テーマ③ 「鉄道のカーボンニュートラルを支える基盤技術」

講 師： 近藤 圭一郎 早稲田大学理工学術院教授

3. パネルディスカッションおよび質疑応答

コーディネーター：山内弘隆 運輸総合研究所所長

パネリスト：講演者

概要： 日本政府は昨年10月、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「2050年カーボンニュートラル」の実現を目指すことを表明しました。これまで、鉄道は、地球環境に優しい交通手段と言われて久しいですが、鉄道事業としても更なる取り組みが必要であると考えられます。

そこで、本セミナーでは、吉高講師より最近の脱炭素の動向と交通事業者を含めた企業にとってのリスクとビジネス機会についての ESG 投資の観点からご講演を、笠井講師、相良講師からは鉄道事業での実際の取り組み事例を、近藤講師からは鉄道のカーボンニュートラルを支える基盤の技術をご紹介します。

これらの講演を踏まえ、今後どのような取り組みが期待されるかなど、議論をしていきます。

●基調講演：カーボンニュートラルを巡る動向～気候変動リスクとサステナビリティ経営～

講師：吉高 まり 三菱UFJリサーチアンドコンサルティング企画管理部門副部長/
プリンシパル・サステナビリティ・ストラテジスト

(概要)

昨年10月の菅首相の「2050年カーボンニュートラル宣言」以降、政府省庁で様々な検討会が立ち上がり、民間企業でもカーボンニュートラル目標を掲げるところが続出し、官民で脱炭素経済への取り組みを推進している。4月には2030年46%目標も発表され、ますますその動きは加速すると見られる。これまでの気候変動に係る歴史を振り返りながら、最近の脱炭素の動向を解説する。また気候変動における企業にとってのリスクとビジネス機会について ESG 投資の観点から紹介する。

(経歴)

1997年 米国ミシガン大学環境・サステナビリティ大学院 (現) 科学修士

2020年 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科博士 (学術)

2000年に排出権ビジネス立ち上げのため三菱UFJモルガン・スタンレー証券 (現)

入社。途上国を含め環境金融コンサルティング業務に長年従事。2020年5月より

現職。現在は ESG 投資、SDGs ビジネス、気候変動、サステナブルファイナンス

領域で多様なセクターに対しアドバイスを実施。2009年より慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科非常勤講師として環境ビジネスデザイン論を担当。中央環境審議会地球環境部会臨時委員、内閣官房気候変動対策推進のための有識者会議メンバーなど複数の政府系委員を務める。



● 講演：JR 東日本グループ「ゼロカーボンチャレンジ 2050」の取組み

講師：笠井 浩司 東日本旅客鉄道株式会社 経営企画部次長

(概要)

JR 東日本グループでは、将来にわたり環境優位性を向上し、社会に新たな価値を創造する企業グループであり続けるために、2050 年度の CO₂排出量「実質ゼロ」を当社グループ全体の長期目標に設定しました。当社グループが有するエネルギーネットワークのほか事業運営におけるさまざまなフェイズで、新たな技術の導入や再生可能エネルギーの開発推進、水素社会の実現に向けた挑戦などを積極的に進め、「脱炭素社会」の実現へ貢献していきます。

(経歴)

1994 年東日本旅客鉄道株式会社入社。入社以降、主に鉄道の利便性向上や環境優位性向上のための設備の整備及びメンテナンスの計画策定・設計・予算管理・工程管理業務に従事。2017 年から現部署にて環境負荷軽減や資源循環等の目標設定、施策策定により JR 東日本グループの環境経営を推進。2020 年に JR 東日本グループの 2050 年度 CO₂排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンチャレンジ 2050」及び JR 東日本の 2030 年度 CO₂排出量 50%削減（2013 年度比）の目標を策定、これらの目標達成に向けて JR 東日本グループの各種取組みを推進中。また、環境施策を中心に JR 東日本グループの ESG 経営の実践を通じて、国連サミットで採択された 2030 年度までに持続可能でよりよい世界を目指す目標「SDGs」の達成への貢献に取り組む。主な職歴は、2011 年八王子支社設備部電力課長、2014 年東京電気システム開発工事事務所総務課長、2017 年総合企画本部経営企画部課長、2020 年総合企画本部経営企画部次長。



● 講演：阪急阪神ホールディングスグループにおけるサステナビリティ推進の取組

講師：相良有希子 阪急阪神ホールディングス株式会社 サステナビリティ推進部課長

(概要)

私たちは、鉄道事業をベースに不動産やスポーツ・エンタテインメントなど幅広い事業を通じて良質なライフスタイルを提案し、地域とともに発展してきた企業グループとして、事業の基盤となる ESG に関してさまざまな取組を進めています。2009 年からグループ全体で進める社会貢献活動「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」や、2020 年 5 月に発表した「サステナビリティ宣言」など、当社グループの持続的な成長、ひいては持続可能な社会の実現に向けた取組をご紹介します。

(経歴)

京都大学法学部卒業。専攻は国際関係、環境問題の自主ゼミに所属。1994 年阪急電鉄(株)入社。経営管理担当、レジャー事業の企画開発・広報宣伝担当を経て、2007 年より阪急阪神ホールディングス(株)を兼務し、グループ全体の社会貢献活動を企画立案、2009 年「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」を開始。グループ全体の社会貢献活動の推進、市民団体の助成プログラムの運営、従業員のボランティア促進などを担う。2018 年同社に転籍。2020 年公表の「阪急阪神ホールディングスグループ サステナビリティ宣言」の企画立案、ESG 開示、経営計画への組込推進などを担う。業務上の主な受賞：「阪急阪神 ゆめ・まちチャレンジ隊」および出張授業「ゆめ・まち わくわく WORK プログラム」により、文部科学省「青少年の体験活動推進企業表彰(審査員会特別賞/2017 年、文部科学大臣賞/2021 年)」並びに経済産業省「第 8 回キャリア教育アワード(経済産業大臣賞・大賞)/2018 年」、SDGs トレインの企画・運行により、日本政府の SDGs 推進本部「第 4 回ジャパン SDGs アワード(SDGs パートナシップ賞)/2020 年」ほか



●講演：「鉄道のカーボンニュートラルをさせる基盤技術」

講師：近藤 圭一郎 早稲田大学理工学術院教授

(概要)

鉄道は元来、省エネルギーな輸送機関と言われている。この講演では、鉄道がその運転においてエネルギー効率が高い要因について技術的な面から解説を行い、鉄道のカーボンニュートラルを支える基盤の技術について解説を行う。

(経歴)

1991年3月 早稲田大学理工学部電気工学科卒業

同年4月 鉄道総合技術研究所入所

2007年1月 国立大学法人千葉大学工学部助教授

2015年4月 同上工学研究科教授

2018年4月 早稲田大学理工学術院教授



鉄道総研では軌間可変電車用永久磁石同期電動機の駆動制御システム、誘導電動機の速度センサレスベクトル制御適用の研究、および燃料電池駆動車両の開発に従事。千葉大に移り、モータドライブシステム制御にパワーエレクトロニクスを適用する研究を行う。早稲田大学ではパワーエレクトロニクスを基盤として、電動モビリティシステムに関する研究を通じて、高効率な電気エネルギー利用システムの普及を図っている。

参加費：無料

お申込み：下記の URL よりお申し込みください

<https://krs.bz/jterc/m/semi72>

(申込期限：6月28日(月)まで)



※お申し込み頂いた方には、6月29日(火) 午後に視聴用 URL をご送付いたします。

運輸総合研究所は日本財団の助成を受けて活動を行っております。 Supported by  日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

お問合せ：一般財団法人運輸総合研究所 企画部 (担当：新倉)

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-18-19 (UD 神谷町ビル)

TEL : 03-5470-8415 FAX : 03-5470-8419

E-mail : collo@jttri.or.jp

HP : <https://www.jttri.or.jp/>